

# 平成23年度 決算報告

平成23年度一般会計の決算規模については、歳入総額が38億4,364万2千円で、前年度と比較すると1,187万8千円(0.3%)の減、歳出総額は37億15万6千円で、前年度と比較すると9,287万4千円(2.6%)の増となりました。

また、歳入歳出差引額は1億4,348万6千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が1,478万3千円あり、実質収支額は1億2,870万3千円となり、前年度より208万9千円(1.6%)の減となりました。

歳入について、町税収入は企業の業績上昇により法人所得割が10.9%の増となったものの、景気低迷により町民税(個人分)が2.3%の減となり、町民税全体では1.2%の減となりました。固定資産税は地籍調査による地目変更や家屋の滅失、国の配分通知による0.7%の減、軽自動車税は、軽四輪乗用車の増加に伴い0.8%の増、たばこ税は、消費本数の増加に伴い0.2%の減、入湯税は年間を通して入湯客が減少しているのに加え、施設修理に伴う休館もあつ

たことにより14.8%の減、町税全体としては1.5%の減となっています。地方交付税については、全体では1.0%の増となりました。これは、外国人住民に係る住民基本台帳法改正に伴うシステム改修等の特別交付税の増によるものです。

国・県支出金のうち、国庫支出金では地域活性化のきめ細かな臨時交付金、公共投資臨時交付金、住民生活に光をそそぐ交付金や、安全安心な学校づくり交付金の皆減が要因となり38.5%減、県支出金においては、森林整備加速化・林業再生事業費補助金、地域支え合い体制づくり事業費補助金、子ども手当システム改修事業費補助金の皆増が要因となり36.3%増で、全体では20.6%の減となっています。

町債においては、過疎対策事業債発行額は、林道「米代線」開設事業を始め、馬坂地区テレビ共同受信施設整備事業、養護老人ホームやまもとの高齢者福祉施設整備事業、高効率生産団地路網整備事業、馬坂橋架替事業、森のえき整備事業など1416.1%の大幅な増となりましたが、起債発行額全体では前年度比12.2%の減となっています。

歳出については、公債費13.4%から12.7%に、義務的経費も35.6%から34.6%へと若干ではありますが減少しており、経常収支比率は78.8%になっています。

その他は下記をご覧ください。

## 平成23年度主要施策

(単位：千円)

### 『補助事業』

馬坂地区個別受信難視聴対策事業	7,150
造林事業	32,313
森林GISシステム整備事業	2,295
観光案内所兼物産販売所整備事業	51,759
馬坂橋架替事業 (H22線越明許含む)	154,542
災害復旧 (農地)	44,064
災害復旧 (林道)	6,926
災害復旧 (公共土木)	2,657

### 『単独事業』

庁舎改修等事業	51,239
戸籍総合システム整備事業	45,433
下水処理施設普及促進奨励金	48,669
総合開発センターエレベーター増設事業	18,576
造林事業 (単独)	22,928
林産物特産品振興事業	51,028
道路維持事業	15,330
湯の沢素波里線舗装事業	13,989
熊の岱端家線道路改良事業	14,533
粕毛団地・清水岱団地屋根葺替事業	13,456
林道「米代線」開設事業負担金	64,023

## ◇歳出の性質別構成比率◇

(単位：千円)

### 【義務的経費】

◎人件費	594,980 (16.1%)
(うち職員給)	325,080 (8.8%)
◎扶助費	214,007 (5.8%)
◎公債費	471,210 (12.7%)

### 【投資的経費】

◎普通建設事業費	734,497 (19.8%)
◎災害復旧費	91,217 (2.5%)

### 【その他経費】

◎物件費	508,854 (13.7%)
◎維持補修費	6,426 (0.2%)
◎補助費等	465,910 (12.6%)
◎投資出資貸付金	28,508 (0.8%)
◎積立金	258,382 (7.0%)
◎繰出金	326,870 (8.8%)

歳出合計	3,700,861 (100%)
------	------------------